

質問・意見に対する回答

【件名】 報告第2号 次期都市計画マスタープラン、立地適正化計画について

委員名	質問・意見	質問・意見の内容	回答
長田委員	なし		
橋田委員	質問・意見あり	<p>土地利用の地区区分については、一部の統合・集約を検討する とあるが、かえって曖昧になり、分かりづらくなるのではない か。</p> <p>土地利用の実態として現行の区分がそぐわないという事情があ るのか。</p>	<p>次期マスタープランにおける土地利用については、現行マスタープラン における地区区分の考え方を踏まえて検討しておりますが、新たな拠点の 位置づけや開発による土地利用の変化を考慮する必要があると考えており ます。</p> <p>検討にあたっては、市民の皆様にとって分かりやすい内容となるように 努めて参ります。</p>
大橋委員	なし		
元木委員	なし		
柳澤委員	なし		
岡村委員	意見あり	<p>これまでの地域区分と立適の拠点の関係を整理していただけれ ばと思います。地方都市型の集約都市構造とはやや異なる概念だ と思います。</p>	<p>地方都市型の集約都市構造とは異なる、調布市の立地特性を踏まえた都 市構造について検討して参ります。</p>
小林委員	意見あり	<p>1から2ページに関すること</p> <p>コロナ禍において、都市計画はなにか見直す必要があるのだろ うか。コロナは「一過性」のものであるから、「まもなく」終息 し、終息後はまたこれまでの考え方に基づいた都市計画を進めれ ばよいのだろうか。それとも「Withコロナ」というような概 念が今後も続くのか。まだ誰もわからない、正解のないことかも しれないが、現行計画を見直すにあたっては、この問題をど う「位置づける」あるいは「みなす」のか、計画者の「立場」を 明確にしないと、議論の焦点がぼやけるように思います。都市マ スの焦点がぼやけると、関連計画にも影響する可能性もありま す。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症への対応のような不確実性を持つ問題につい て、どのような視点で検討していくかは重要な点であると考えております ので、次期都市計画マスタープラン（立地適正化計画）の策定検討におい て、いただいた御意見の趣旨を踏まえ、取扱いを明確にして参ります。</p>

質問・意見に対する回答

【件名】 報告第2号 次期都市計画マスタープラン、立地適正化計画について

委員名	質問・意見	質問・意見の内容	回答
小林委員	意見あり	<p>3 ページ</p> <p>地域地点が示されています。特に「緑」の拠点についてですが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「水と緑の拠点」という名称ですが、なんの拠点が明らかにしていただけたらと思います。人々が緑の中で交流する拠点、地域生態系の拠点など。 ・調布市の地形からは、この拠点が崖線・多摩川という自然の「帯」と甲州街道の街路樹などの人工の「帯」が拠点になるのではないかなと個人的に思っていました。 ・そうした「帯」の拠点と、野川公園や神代植物園あたりの「円」の拠点の合体したものが調布のイメージではなかろうかと思いました。 	<p>「住み続けたい 緑につつまれるまち 調布」という現行都市計画マスタープランの理念を継承しつつ、調布市の貴重な資源である「緑」の拠点がどのようにあるべきかを明確にしていくためにも、御意見としていただいた視点も参考にさせていただきながら、検討を進めて参ります。</p>
雨宮委員	なし		
伊藤委員	なし		
大野委員	なし		
清水委員	なし		
平野委員	なし		
林委員	なし		
中原委員	なし		
佐々木委員	なし		
浅井委員	なし		